

# JAPAN Biocommunity

バイオコミュニティ



## ■バイオコミュニティとは？

バイオ分野において、国内外から人材・投資を呼び込み、市場に製品・サービスを供給する体制（イノベーション・エコシステム）の強化に向けて、公募に基づき一定の要件（世界に通用する強み（科学的基盤、産業的基盤）、産学官金の主要な主体・キーパーソンの参画、コミュニティの連携・調整を担うネットワーク機関の能力、具体的な実施計画等）を満たすものを、内閣府が「バイオコミュニティ」として認定しています。

研究開発から事業化までに多様な主体が関わる戦略的なバリューチェーンを構築し、世界をリードする「グローバルバイオコミュニティ」と、地域に応じた特色ある取組を展開する「地域バイオコミュニティ」が、各拠点の取組に加え、拠点間が相補的に連携した体制の構築、国内での認知度向上に向けた取組を推進しています。

本パンフレットは、各バイオコミュニティの特徴、強み、活動状況などをまとめたものです。関心を持たれた方はぜひお問い合わせください。

## 全国のバイオコミュニティ

-  バイオ分野で世界をリードする  
グローバルバイオコミュニティ
-  地域に応じた特色あるバイオ分野の取組を  
展開する地域バイオコミュニティ
-  今後の成長が期待される育成バイオコミュニティ



(P11~P12)

 鶴岡バイオコミュニティ  
Tsuruoka Science Park  
(p.13~p.14)

 みんなで創るみんなの長門  
バイオコミュニティ  
未来創造都市ながおか  
The Bio Community Future Creates City Nagasaki  
(p.15~p.16)

東海バイオコミュニティ  
(育成)

群馬グリーン産業  
創出プラットフォーム  
(育成)

Greater  
Tokyo  
Biocommunity  
(p.3~p.6)

 福岡バイオ  
コミュニティ  
FUKUOKA  
BIOCOMMUNITY  
(p.19~p.20)

  
BiocK  
バイオコミュニティ関西  
(p.7~p.10)

 ひろしまバイオDXコミュニティ  
(p.17~p.18)

沖縄バイオコミュニティ  
Okinawa BioCommunity  
(p.21~p.22)

## ■バイオエコノミーとは？

バイオエコノミーとは、バイオテクノロジーやバイオマス（再生可能な生物資源）を活用し、持続的で、再生可能性のある循環型の経済社会を拡大させる概念です。

環境、資源、食料、健康・医療等の様々な社会課題の解決と持続可能な経済成長への貢献が可能であり、近年の合成生物学、ビッグデータ関連技術等、バイオテクノロジーの進展により期待が急速に高まっています。

## ■バイオエコノミー戦略とは？

日本では、バイオエコノミー市場の拡大に向けて「バイオエコノミー戦略」（2024年6月統合イノベーション戦略推進会議決定）を策定し、官民が連携した取組を推進しています。海外でも約60カ国以上でバイオエコノミーに関する戦略が策定されています。

## バイオエコノミー戦略が目指す姿

### 各産業のバイオプロセス転換の推進、未利用資源の活用による環境負荷低減やサプライチェーンの強靱性向上

改良した微生物や動植物の細胞等から様々な物質を生産するバイオものづくりにより、化石資源からの脱却や、資源自律経済の実現



植物バイオマス由来の高機能バイオプラスチック



Spiber (株) の ブリュード・プロテイン™

### 持続可能な食料システムの構築

スマート農業技術や新品種の開発・導入を通じた生産性向上や環境負荷低減に向けた食料システムの構築への貢献



温室効果ガスの排出を削減する小麦の開発



inaho (株) が開発したアスパラガス収穫ロボット

### 木材活用大型建築の普及によるCO<sub>2</sub>排出削減・花粉症対策への貢献

大型建築への木材利用の拡大や林業の生産性向上により森林資源の循環利用を進め、CO<sub>2</sub>排出削減や花粉症対策へ貢献



木材活用大型建築のイメージ  
出典：森林・林業白書

### 日本発のバイオ医薬品等のグローバル展開

従来の低分子医薬品に比べて分子が大きく構造が複雑なバイオ医薬品により、健康的な生活への貢献



エーザイ (株) のアルツハイマー病治療薬「レカネマブ」™

### 医療とヘルスケア産業が連携した健康寿命延伸

健康医療情報等のデジタル化・データ連携等により、ヘルスケア領域への異分野からの参入促進、新市場の創出



Apple Watchでのデータを基にした診察・ヘルスケアサービス

# Greater Tokyo Biocommunity (GTB)

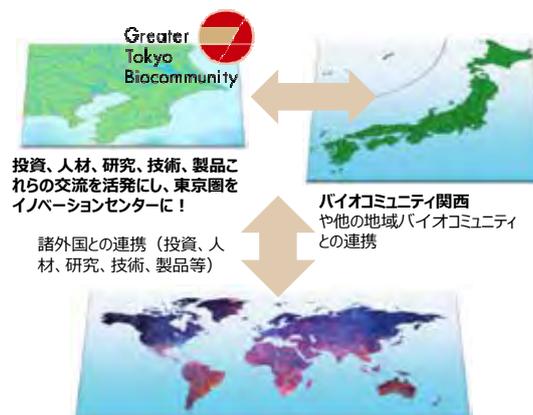
## 東京圏を世界最高峰のイノベーションセンターへ

多様な主体が集積している東京圏をひとつのバイオコミュニティとしてとらえ、その実力の可視化と発信に取り組みつつ、国内のバイオコミュニティはもとより、諸外国との連携をこれまで以上に強化し、人材育成や拠点整備を促進し投資活動を活発化することで、幅広い、市場領域における産業のポテンシャルの最大化を図ります。東京圏を世界最高峰のイノベーションセンターにすることにより「2030年に世界最先端のバイオエコノミー社会を実現」の達成に貢献します。



### 活動方針

1. 東京圏の実力を可視化し、海外に発信する
2. 参画機関や関連団体との連携を強化し、交流を促進する
3. 国内及び海外からの投資（研究開発・生産・人材育成・インキュベーションなど）を促進する
4. 規制・制度に関する提言・提案をする
5. 研究開発と生産の両方のサプライチェーンを見直し強化し、9市場領域を含む産業のポテンシャルを最大化する



### 特徴・強み

#### ■優れた科学・技術

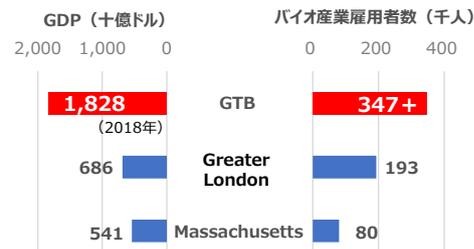
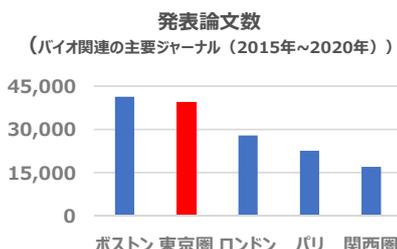
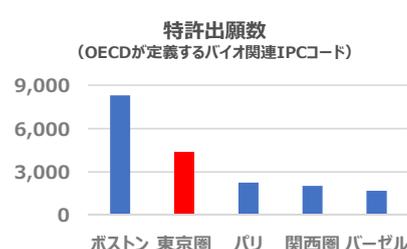
有力な研究機関や研究者が集積し、多くの知的財産権や医薬品パイプラインを保有します。世界を代表する都市圏の比較では、発表論文数（2位）、被引用論文数（3位）、パイプライン数（2位）、特許出願数（2位）と科学的基盤について強みを有しています。（12都市圏の比較：東京圏、関西圏、ボストン、ロンドン、パリ、ストックホルム、ミュンヘン、シンガポール、サンディエゴ、コペンハーゲン、バーゼル、テルアビブ／経済産業省調べ、2022年）。

#### ■大企業の集積

世界で最も大企業が集積し、海外の主要都市にくらべ GDP 及びバイオ産業雇用者数が数倍規模であり、既存産業の集積は極めて高いと言えます。実際、GTBに参画するバイオ関連団体の会員企業は1,500社におよびバイオエコノミー戦略の重点5領域をすべてカバーしています。

#### ■成長する新興企業

日本のバイオテックスタートアップの約半分は東京圏に所在しており、日本を代表する地域となっています。



12都市圏の比較 (上位5都市圏抜粋)

主要都市の産業規模比較 (2019年)

## ■盛んな官民投資

GTBでは、バリューチェーン全体に関わる投資促進を進めており、2024年6月時点で以下の成果を上げており、更なる拡大を目指しています。

### GTB バイオイノベーション推進拠点投資状況 (2024年6月現在)

① 研究開発	24国プロジェクト 総額 最大約 <b>2,000</b> 億円/10年(2021-2030)
② ベンチャー支援	国の支援 推定約 <b>1,750</b> 億円/7年(2023-2030)
③ 生産設備	12製造拠点・本社機能 国の補助金 約 <b>2,300</b> 億円
④ 民間投資	総額 >約 <b>6,900</b> 億円/約3年(2021-2024)

## 体制

■ネットワーク機関 一般財団法人バイオインダストリー協会 (JBA)

■研究開発機関、企業等、自治体・インキュベーション機関 合計47団体 (2024年1月時点)

GTB では8つの拠点でエコシステム形成活動を推進しています。定期的な会合等を行い、拠点間で交流・連携を促進しています。



GTB バイオイノベーション推進拠点と主なプレーヤー

# Greater Tokyo Biocommunity (GTB)

## 主な参画機関・活動

GTB には研究シーズを生み出す大学、シーズを育むインキュベーション施設、事業化に向けてスケールアップを行う生産設備が集積しています。また、ネットワーク機関である JBA が諸外国との連携も含めたネットワーク化、投資促進、人材育成、拠点整備等を行い、産業のポテンシャルの最大化に向けて取り組んでいます。

### ■大学



東京大学

世界トップレベルの研究を推進する総合大学。THE 世界大学ランキング(2024年)は日本最高順位の29位。



東京科学大学

2024年10月に東京工業大学と東京医科歯科大学が統合して誕生した医歯理工系大学。



筑波大学

科学技術研究機関が集積する筑波研究学園都市の中核研究機関。

### ■インキュベーション施設



湘南拠点：湘南アイパーク

日本最大級のライフサイエンス特化型サイエンスパーク。30万㎡の敷地内に約150の製薬企業、バイオベンチャー、アカデミア等が入居し、約2,500人が勤務。化学合成実験、RI 実験、生化学実験、動物実験、など *in vitro* から *in vivo* 実験まで可能な実験スペースを準備しています。クリーンベンチ等の基礎的な機器から NMR 等の高度機器などの機器を使用可能で入居後すぐに研究が可能です。(2024年8月時点：入居可能)



柏の葉拠点：三井リンクラボ柏の葉1

アカデミア(東京大)、研究施設(産業技術総合研究所)、先端医療施設(国立がん研究センター)等の近接地にある賃貸総面積8,228㎡の賃貸ラボ施設。共用部には会議室、カフェ、コミュニケーションラウンジを整備しています。基本的なウェット実験が可能な共通機器を設置しており、入居者様の初期投資削減を支援しています。(2024年8月時点：入居可能)



ナノ医療イノベーションセンター (iCONM) シェアラボ(左)・オフィス(右)スペース

スタートアップの成長とサイエンスを存分に追及できる環境を提供するグローバルプレミアムインキュベーター。バイオ、化学合成、ナノ加工、ヒト疾患モデル実験施設や370以上の高度研究分析機器が利用可能で、すぐに研究を開始できます。ライフサイエンス分野で活躍する専門家による事業メンタリングや、知財・VC・法務・規制、会計等の経営に必要な人材との接続機会も得られます。羽田空港から車で5分と空港からのアクセスも優れています。(2024年8月時点：入居可能)

### ■生産設備 政府の生産設備導入促進策の GTB 域内での利用加速を行っています。



AGC(株)のバイオ医薬品 CDMO 開発・製造施設(2026年開所予定)



Elixigen Scientific Japan(株)の研究用/治験用 mRNA 製造施設



Green Earth Institute(株)の NEDO バイオフィラウンドリ拠点

## ■共同研究の形成促進とビジネスマッチング



### BioJapan の開催

アジア最大級のパートナーリングイベントであるBioJapanでは国内の産学官だけに留まらず、海外からも多くの企業・スタートアップ・アカデミア・研究機関が参加し、グローバルなオープンイノベーションを加速する場を提供しています。



### ジャパン・ヘルスケアベンチャー・サミットの開催

医療系ベンチャーを育てるエコシステム確立のため、医療系ベンチャーのブースの出展や、プレゼンテーション等を行いマッチングやネットワーキングを促進していく場を提供しています。

## ■ベンチャー育成促進

セミナー等による課題共有や域内の起業家育成、ベンチャー支援活動を行っています。



### セミナー等による課題共有



### 起業家・ベンチャー育成に繋がる ピッチイベントの開催



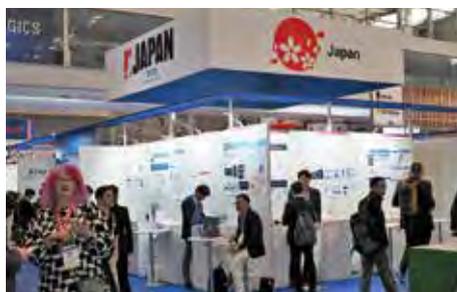
### iCONM with BioLabs における ネットワーキング

## ■国際認知度向上、海外からの投資拡大

国際イベントで GTB 活動の紹介や、日本貿易振興機構（ジェトロ）等と連携した国内バイオベンチャーの海外進出支援を行っています。



### BIO-Europe ドイツで、GTB 活動を 紹介



### BIO Int. ボストンで、ジェトロ等と連携し 国内バイオベンチャーの海外進出を支援



### HOTS HILL、東京・ボストン連携 ワークショップを開催

### 【ネットワーク機関からのメッセージ】

東京圏への研究所・工場立地にご関心ある企業の皆様、東京圏の大学・研究所のシーズにご関心ある企業の皆様、東京圏のスタートアップエコシステムにご関心ある企業・研究機関の皆様、是非お気軽にコンタクトください。また、東京圏では様々なバイオ関連イベントが開催されています。是非、皆様の事業推進にご活用ください。

### 連絡先（ネットワーク機関）

一般財団法人バイオインダストリー協会

E-mail : [gtb@jba.or.jp](mailto:gtb@jba.or.jp)

HP : <https://gtb.jba.or.jp/>

X : @TokyoGreater



# バイオコミュニティ関西 (BiocK)

## 関西を拠点にバイオ分野における究極のエコシステムをつくる ～「集積」から「連携」へ～



**BiocK**  
バイオコミュニティ関西

関西における産官学の法人及び団体を代表する者からなる「委員会」を中心にコミュニティを運営し、その事務局は NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議と公益財団法人都市活力研究所が共同して担っています。また、最も重要な活動であるイノベーションの促進を確実に実行するため、「分科会」を設置しています。さらに、ネットワーク形成促進のベースとして活用するため「連携機関」を設けています。これらの連携・連鎖を促し、アンダーワンルーフの下、相乗効果を高めていきます。

### 目指す姿

ビジョン	持続可能な社会実現のため、バイオファーストの発想を広げ、グローバルバイオコミュニティの形成をめざす
ゴール	関西を拠点にバイオ分野における究極のエコシステムをつくる
キーワード	「集積」から「連携」へ つなぐ、つなげる、つながる

#### 「集積」から「連携」へ！



#### 「連携」が意味すること

ネットワーク機関が中心となって、コミュニティ内の人と情報の交流を促進することにより、各機関がお互いの状況を深く理解し、適切な情報共有が進む状態をつくり出し、必要なパートナーと協力し、人・モノ・金・情報の好循環が進み、経済的な成長を達成するとともに、グローバルな存在感を増している状態

### 特徴・強み

#### 研究拠点と知の蓄積

京都大学、大阪大学、理化学研究所等の高度な研究機関やノーベル賞受賞者を含む質の高い研究者が集積し、研究開発型の民間企業も多く存在します。再生医療や免疫等の分野で質の高い研究開発活動を推進し、また、スーパーコンピュータ「富岳」など、先端分野の研究開発をリードしています。海外との共同研究や研究交流が活発に行われています。

京都大学  
京都大学iPS細胞研究所(CiRA)  
京都大学iPS細胞研究財団 (CiRA\_F)  
理化学研究所(けいはんな)  
地球環境産業技術研究機構 (RITE)  
京都リサーチパーク(KRP)

大阪大学  
大阪公立大学  
医薬基盤・健康・栄養研究所  
国立循環器病研究センター  
産業技術総合研究所(関西センター)  
理化学研究所(吹田)  
彩都、健都、中之島  
関西医薬品協会、道修町  
近畿バイオインダストリー振興会議  
都市活力研究所、LINK-J WEST

神戸大学  
理化学研究所(神戸)  
神戸医療産業都市(KBIC)/スーパーコンピュータ「富岳」  
先端バイオ工学推進機構(OEB)  
次世代バイオ医薬品製造技術研究組合(MAB)  
バイオロジクス研究・トレーニングセンター(BCRET)  
播磨科学公園都市/大型放射光施設「SPRING-8」

#### BiocK の研究拠点

## ■ バイオ関連産業の集積

歴史的に、医薬品、医療機器、醗酵などのバイオ産業、ものづくり中小企業が集積しています。さらに、バイオ関連のCMO（受託製造）や CDMO（受託開発製造）事業が近年積極的に拡大されています。

## ■ 地域の魅力

大阪・京都・神戸は魅力的な都市として国際的な認知度が高く、海外、特にアジアとの強い繋がりがあります。また、オフィス賃料や工業団地借料なども優れたコスト競争力を有します。

## ■ 将来への期待

研究開発型産業振興のための大型プロジェクトが多く推進され、また、スタートアップ企業輩出の素地があり期待されています。さらに、大阪・関西万博2025が予定されています。

# 体制

■ **ネットワーク機関** NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議、公益財団法人都市活力研究所

■ **財界、アカデミア、自治体、国研、専門機関** 合計37団体（2024年1月時点）

社会課題解決のためのオープンイノベーションを推進する責任あるコンソーシアム（分科会）を組成し、1企業、1研究機関では解決できないテーマを取り上げて挑戦しています。BioCK における主要プレイヤーが、各分科会のリーダー機関を担っています。

# 主な参画機関・活動

## ■ 大学・研究機関



京都大学 (提供: 京都大学)

ノーベル賞受賞者を複数輩出するなど卓越した研究力を有する総合大学。



大阪大学 (提供: 大阪大学)

基礎研究と実学の双方を重視する研究型総合大学。



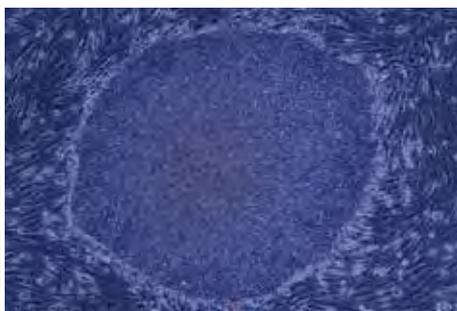
スーパーコンピュータ「富岳」

理化学研究所と富士通（株）が開発した世界第4位（2024年6月時点）の計算速度をもつスーパーコンピューター。



京都大学 iPS 細胞研究所 (左: 研究所外観、右: iPS 細胞) (提供: 京都大学)

日本のiPS細胞研究を推進する中核組織。iPS細胞の医療応用という使命のもと、iPS細胞作製技術を用いて創薬、新しい治療法の開発、病気の原因の解明や再生医療への応用を実現するための研究を行っています。



(提供: 国立研究開発法人理化学研究所)

## Spring-8

世界最高性能の放射光を生み出すことができる大型放射光施設。バイオテクノロジーや産業利用等の幅広い研究に活用することができます。

# バイオコミュニティ関西 (BiocK)

## ■ インキュベーション拠点



(提供：大阪イノベーションハブ事務局)

### 大阪イノベーションハブ

大阪市が開設した世界に挑戦する起業家や技術者が集まるスタートアップ支援拠点。スタートアップの成長フェーズに合わせ、アクセラレーションプログラムなどの支援メニューの提供や、新たな事業の創出やスケールアップにつながるイベント・プログラム（年間約200回）を開催しています。起業家を中心とした会員が1,200名以上、企業・官公庁等のパートナー会員は450件以上在籍し、支援するスタートアップの累計資金調達額は400億円に達しています。



(提供：一般財団法人 未来医療推進機構)

### 中之島クロス

2024年6月にオープンした医療機関と企業、スタートアップ、支援機関等が一つ屋根の下に集積する、他に類を見ない未来医療の産業化拠点。入居する企業や医療機関等がそれぞれ連携することで、再生医療をベースに、ゲノム医療や人工知能 (AI)、IoT の活用等、今後の医療技術の進歩に即応した最先端の「未来医療」における産業化を推進や「未来医療」の提供をめざしています。また、施設内の未来医療R&Dセンターには、スタートアップの集積・育成をめざし、細胞実験などが行えるラボとオフィスが一体化した賃貸スペースも備えています。



(提供：公益財団法人 神戸医療産業都市推進機構)

### 神戸医療産業都市

日本最大級のバイオメディカルクラスター。理化学研究所や大学等の研究機関、神戸市立医療センター中央市民病院をはじめとした高度専門病院群および医療関連企業・団体等、400を超える病院・企業・団体・機関が神戸のポートアイランドに集積。専任コーディネーターによる伴走支援など産学官医連携で研究開発から事業化までを強力にサポートする環境とサービスを提供し、医療分野で数々のイノベーションを起こしています。また、ビジネス・研究開発拠点として、1デスクより入居可能なシェアラボ・シェアオフィスから1,000㎡超のレンタルラボ・賃貸オフィスまで、多種多様なニーズに対応可能なプランをご用意しています。共用実験機器を完備し、手ぶら入居で研究開始できる施設もあります。

## ■ ネットワーク形成促進

バイオエコシステムの形成に向けて、国内連携を加速しながら、各国との連携事業により、情報交流を推進しています。

### 国内連携



バイオコミュニティ連携会議の開催

## 関西 バイオビジネス マッチング 2023

参加者募集!!

バイオ技術分野におけるシーズとニーズのマッチングイベントとして、「関西バイオビジネスマッチング」を完全オンラインで開催します。新規事業の創出、新たなイノベーション開発の場として是非ご活用ください。

- 募集期間 2023年10月2日（月）～2023年11月17日（金）
- 実施方法 オンライン開催：2024年1月～2月の2か月間  
オフ：2024年1月10日（水）14:00～18:00
- 募集対象 バイオ技術関連の企業、ベンチャー、アカデミア等  
バイオ技術分野に特化した募集要項の参照も可
- 対象分野 バイオ技術分野全般  
高糖・糖鎖、創薬支援、研究支援、再生医療、ヘルシケア、食品・機能性食品、化粧品、素材、化学、分析、農・水産・食糧、環境、エネルギー、デジタル-AI等
- 参加費 企業：2万円（税込）、アカデミア：無料
- 申込方法 近畿バイオイノベーション振興会議のホームページからお申し込みください  
URL: <https://kinkbio.com/informations/3388>

■ 場所と時間の制約を受けません ■ 納期いくまで面談可能

■ 異業種と出会えます ■ アカデミアの新しいニーズにも期待

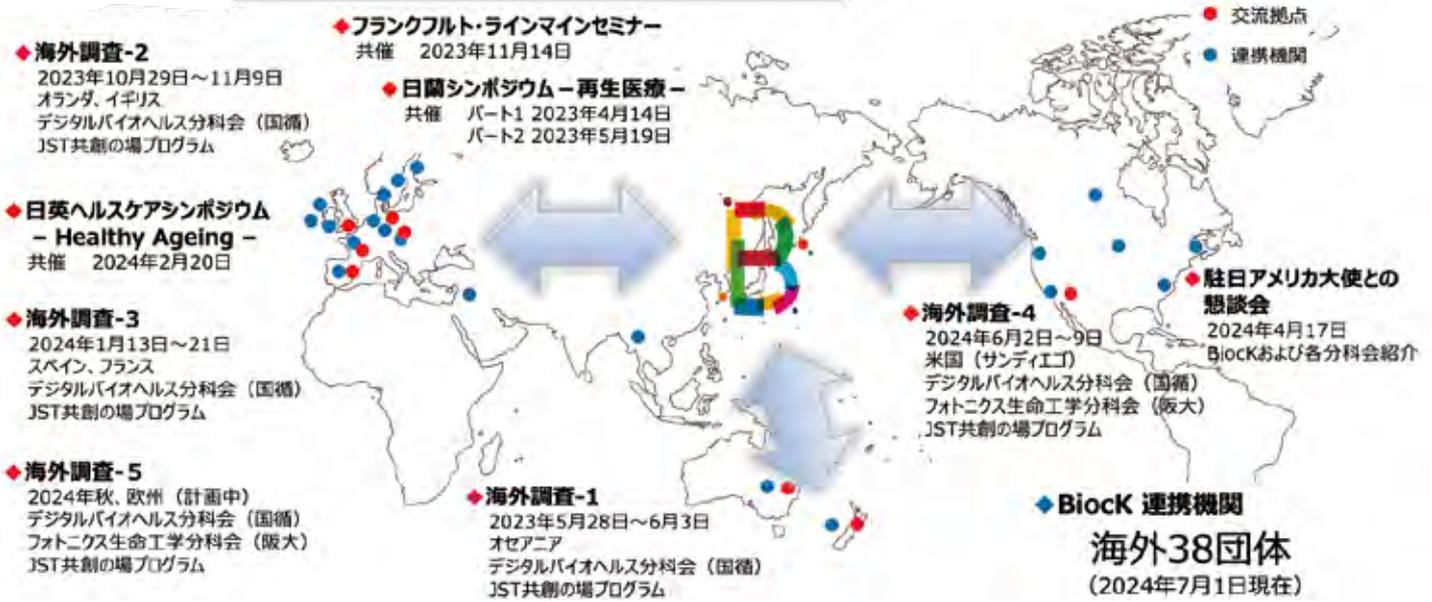
■ マッチングサポートがあります ■ 参加者は無料でピッチ登場できます

事務局 〒541-0048 大阪市中央区東本町1丁目1番1号 近畿バイオイノベーション振興会議 2F  
 TEL: 06-6523-2107 FAX: 06-6523-2177 URL: <https://kinkbio.com/>  
 E-mail: [biomatching2023@kinkbio.com](mailto:biomatching2023@kinkbio.com)



関西バイオビジネスマッチングの開催

## 海外連携



各国との連携事業により、情報交流を推進中

## イノベーションの促進

社会課題解決のためのオープンイノベーションを推進する責任あるコンソーシアム（分科会）を組成し、1企業、1研究機関では解決できないテーマを取り上げて挑戦しています。

薄青：企業発オープンイノベーション分科会

濃青：産官学連携プロジェクトとの連携分科会



## 分科会のマッピング

### 【ネットワーク機関からのメッセージ】

バイオコミュニティ関西は関西圏を中心にしてエコシステムの構築を目的としており、社会課題解決のためのネットワーク型オープンイノベーションを推進しております。バイオコミュニティ関西と共にオープンイノベーションを成功させ、世界標準化を目指してグローバルに展開して行きましょう。

## 連絡先（ネットワーク機関）

NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議

公益財団法人都市活力研究所

E-mail : info@bioc.jp

お問い合わせ : <https://bioc.jp/contact/>

HP : <https://bioc.jp/>



# 北海道プライムバイオコミュニティ

## 誰もが農業・水産業・林業に従事したくなる憧れの北海道へ

一次産業のスマート化による労働生産性の向上や、環境に配慮した生産技術の研究・事業化、北海道バイオブランドの確立を図り、誰もが農林水産業に従事したくなる地域を目指します。



## 活動方針

北海道プライムバイオコミュニティでは、道内の一次産業従事者や企業、教育研究機関、金融機関、自治体が連携しあい、北海道の強みである一次産業に関連した研究開発を行います。また農林水産業の高度化・スマート化などによって、産業の持続化と活性化、市場の拡大を目指してまいります。

## 特徴・強み

### ■一次産業やビジネスに関連した教育研究

総合大学であり農学部・水産学部も有する北海道大学、農学・畜産科学・獣医学の実学に関する教育研究を行う帯広畜産大学、ビジネスに特化した実学教育を行いMBA授与大学院を有する小樽商科大学など多数の大学があり、一次産業やビジネスに関する総合的な教育・研究を実施しています。

### ■盛んな一次産業

総面積83,422km<sup>2</sup>という広大な土地と豊かな自然を有しており、農林水産業の規模は国内有数です。

- ・農業産出額：12,919億円(2022年、全国1位(14%))
- ・海面漁業・養殖業産出額：3,135億円(2022年、全国1位(22%))
- ・林業産出額：480億円(2022年、全国2位(9%))

### ■北海道大学 J-PEAKS との連携

日本学術振興会の「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」において採択された北海道大学の構想「フィールドサイエンスを基盤とした地球環境を再生する新たな持続的食料生産システムの構築と展開」では、農学、水産学等をさらに発展させる研究拠点を設け、地球環境の再生(リジェネラティブ)を促進する取り組みの一環として、持続的食料生産システムの実現を図ることを大きな目的の一つとしています。当バイオコミュニティは本事業と連携して地域課題の解決を目指します。

### ■産学官連携・スタートアップ支援体制の充実

「北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会」によりビジネス創出のための産学官連携の場が提供されています。また、スタートアップの支援推進のための拠点都市として、札幌市が政府から指定され、大学発スタートアップ創出のための全道的なプラットフォーム「HSFC(エイチフォース)」が設立されるなど、スタートアップ創出へ向けた充実した支援体制があり、一次産業の新しい技術やサービスを開発・事業化するための最適な場を提供します。

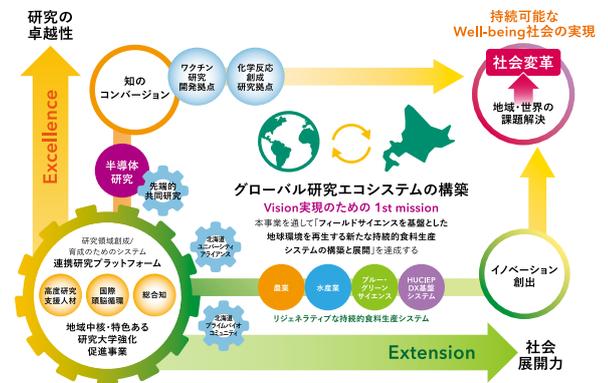
## 体制

■ネットワーク機関：北海道<sup>3</sup>(Hokkaido Cubix)連絡会、アカデミア(北海道大)、自治体(北海道)、産業界(北海道科学技術総合振興センター)の3機関の連携

■研究開発機関：北海道大学、小樽商科大学、室蘭工業大学、北見工業大学、帯広畜産大学、札幌医科大学、北海道情報大学等

■企業等：北海道バイオ工業会、北海道バイオ産業振興協会、北海道食品産業協議会等

■自治体：北海道、札幌市、岩見沢市、函館市、帯広市、釧路市、余市町等



### 北海道大学 J-PEAKS

北海道大学ではリジェネラティブな持続的食料生産システムの開発と実証を行っている。



## 主な参画機関・活動

農業・水産業・林業の3領域の研究開発や高度化・スマート化に取り組み、参画機関が持つ機能やリソースを連携させることで持続的な一次産業の創出を目指しています。

### ■ネットワーク活動、インキュベーション活動



北大リサーチ&ビジネスパーク

産学官連携で研究開発から事業化までの取組を一貫して支援する場を提供しています。北海道大学北キャンパスエリアに集積する16施設のうち9施設において、インキュベーション施設として、約10~130㎡の合計168室のオフィス・実験室を整備しています。実験台やドラフト等を備えた部屋もあり基礎的なウェット実験も可能です(2024年6月時点:入居可能)。



農業学習施設

KUBOTA AGRI FRONT ※クボタ提供



(株)クボタが運営する「食と農業」の未来を志向する仲間づくりの場」をコンセプトとした農業学習施設です。様々な企業の最先端のスマート農業に関する製品展示があり、多くの農業関係者らが訪れることで、ユーザーとスタートアップ企業がつながる場を形成しています。(左写真: KUBOTA AGRI FRONT の外観、右写真: (株)プランテックスの完全閉鎖式植物生産装置)

### ■一次産業の高度化・スマート化へ向けた活動



農業者向け研修会

北海道大学スマート農業教育研究センターにおいて、スマート農業の教材や研修の機会を提供しています。



ナノグリッド実証施設

提供: (株)日立製作所

生産性の向上や低炭素化のため、太陽光等を活用しエネルギーの「地産地消」を可能にする小規模電力システム「自立型ナノグリッド」の実証試験を行っています。得られた電力は農業機械や農業散布用ドローンの充電に活用しています。



市町村職員や農協職員等向け研修会

スマート農業に関する専門的知識を有する地域の指導的人材となる市町村職員等を育成するため、企業・団体等で連携して様々な研修を実施しています。



「スマート林業 EZO モデル構築協議会」での実証試験

造林から保育、森林調査、伐採、流通、加工までの情報をデジタルでつなぐ先進的な技術の検証を行っています。写真は、ICTハーベスタの実証試験の様子を示し、原木価格や需要動向等を踏まえて、丸太の販売価格が最大になるように自動で採材可能です。

#### 【ネットワーク機関からのメッセージ】

北海道の一次産業をより良くしたいと考えています。私たちと一緒に取り組みませんか。お気軽にお問い合わせください。

### 連絡先 (ネットワーク機関)

北海道<sup>3</sup> (Hokkaido Cubix) 連絡会  
E-mail: h-cubix@jimuhokudai.ac.jp  
HP: <https://www.hbiocom.jp/>



## ■ 鶴岡バイオコミュニティ

# 鶴岡サイエンスパークを拠点に 世界の課題解決に貢献



慶應義塾大学先端生命科学研究所（慶應先端研）を中核とするバイオサイエンスの先端研究機関、教育機関、慶應発バイオスタートアップ群、イノベーター人材育成をめざす企業群が集積する「鶴岡サイエンスパーク」をエリア拠点とし、バイオ技術を駆使したサステナブルな新素材の開発生産、ヘルスケア・機能性食品、医薬・医療等の研究開発をすすめ、世界の課題解決に貢献していきます。

## 活動方針

山形県・鶴岡市・慶應義塾の3者連携体制を基盤に20年以上にわたり蓄積されてきた研究・教育・ビジネスの実績を土台に、慶應先端研を中心とするアカデミア群が、研究・技術・人材輩出の基盤となり、魅力的で多様なバイオスタートアップ各社が個々に成長を遂げ、投資を呼び込むことで、研究・社会実装・人材育成が循環し発展するサイクルをさらに大きく成長させていきます。がん新規治療薬・治療法の開発、機能性食品、腸内細菌関連医薬品、新規抗生物質、バイオ燃料、次世代高たんぱく食などの研究を進め、新事業の創出をめざします。（一社）鶴岡サイエンスパークがコミュニティ内外を有機的につなぎ、多様な連携を促進していきます。

## 特徴・強み

### ■ 大学を核とし、複数のスタートアップが誕生

慶應先端研はシステムバイオロジーのパイオニアとして、データ駆動型の生命科学に取り組み、メタボローム解析の中核技術を生んでいます。これらのコア技術等を活用し、慶大の教員・学生が中心となって多くのバイオスタートアップを創業し、高度な関連機関の集積が進んでいます。大学を核とした独創的な地域活性の成功地として、国内外から注目されています。



庄内平野と鶴岡サイエンスパーク

### ■ イノベーションを生むマインド醸成と地方自治体の長期支援による人材育成・集積

挑戦を重視するカルチャーがイノベーションを生むエンジンとなっており、山形県と鶴岡市が20年以上にわたって慶應先端研に拠出している大型補助金が安定的な運営財源となって長期的な研究教育活動と人材育成を可能にし、独創的な研究・ビジネスを生むユニークな人材が育ち、その魅力的な人材が、さらに国内外から人材を呼び込んでいます。大学、企業と行政機関との連携の強さ、速さが強みです。

### ■ 研究開発と相乗効果を生む周辺環境とアクセス、充実した食環境

サイエンスパーク及びその周辺には、ホテル「ショウナイホテル スイデンテラス」、児童教育施設「キッズドームソライ」、企業主導型保育所「やまのご保育園」のほか、シングルタイプ、ファミリータイプのマンションが立地しています。羽田空港からサイエンスパークまで最短約75分（飛行機60分+車15分）と、首都圏からのアクセスに優れています。鶴岡市は日本で初めてユネスコ食文化創造都市に認定された豊かな食の都であり、季節ごとに味わえる旬の食物が活動の大きな力となります。

## 体制

■ ネットワーク機関：一般社団法人 鶴岡サイエンスパーク

■ 研究開発機関：慶應義塾大学先端生命科学研究所、鶴岡工業高等専門学校、理化学研究所環境資源科学研究センター等

■ 企業等：ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ、Spiber、サリバテック、メタジェン、MOLCURE、BIPROGY、インセムズテクノロジーズ、フェルメクテス等

■ 自治体・インキュベーション機関：鶴岡市

# 主な参画機関・活動

## 研究機関



慶應義塾大学先端生命科学研究所

2001年に山形県と鶴岡市を含む庄内地域の14市町村（当時）、慶應義塾が連携して設立された慶應先端研は、鶴岡サイエンスパークの基幹組織として、基礎研究及び高等教育の中心的な機能を果たしています。メタボローム解析装置群（CE-MS等）をエリア内に50セット以上保有しており、最先端のバイオテクノロジーを用いて生体や微生物の細胞活動を網羅的に計測・分析し、コンピュータで解析・シミュレーションして医療や食品発酵などの分野に応用しています。山形大学アグリフードシステム先端研究センター、理化学研究所環境資源科学研究センター、国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点もあります。

## インキュベーション施設



鶴岡市先端研究産業支援センター

企業や研究機関の実験・研究用のレンタルラボとして、敷地面積4.3ha、延床面積10,517㎡の施設に貸室を全82室用意し、共用部は会議室、レクチャーホール、コミュニケーションラウンジ等があります。アットホームな環境・規模から、偶発的なコミュニケーションが生まれやすいことも大きな魅力です。

## 研究・人材育成を軸とした連携・地域活性の取組み



研究活動を行う地域の高校生

慶應先端研で地域の高校生を受け入れ、自主テーマ研究などを支援し、首都圏大企業からは社員を受け入れ、イノベティブ人材育成を行っています。大学・企業にフィールドを提供する合宿プログラムや、地域と創る「サイエンスパークまつり」など、開かれたサイエンス・コミュニティの取組を行っています。

## 鶴岡・慶應発バイオスタートアップの取組み

鶴岡・慶應から生まれたスタートアップは全9社（バイオ8社、街づくり1社／2024.1時点）あり、慶應先端研の科学技術基盤であるメタボローム解析を事業化したヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ（株）、微生物を用いた構造タンパク質素材「Brewed Protein™」の生産と産業化に取り組むSpiber（株）、唾液の検査でがんの早期発見をめざす（株）サリパテック、便に含まれる「腸内細菌叢」等の情報を独自の最先端技術「メタボロゲノミクス®」で解析する（株）メタジェン、独自のAI創薬プラットフォーム技術で開発を進める（株）MOLCURE などがあります。



ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社

鶴岡で生まれた最初のバイオスタートアップ  
2013年に上場（山形県庄内地域で唯一）



Spiber 株式会社

循環型社会の実現をめざす  
日本で数少ないユニコーン企業に成長

### 【ネットワーク機関からのメッセージ】

日本の地方都市の圧倒的な豊かさを体感できる山形県鶴岡市で、自らの力で最先端に挑み、世界に貢献したい個人・企業・機関をお待ちしています。生命科学の基礎研究、バイオものづくり、ヘルスケア・機能性食品、医薬・医療等の研究開発に加え、ゼロから新領域を立ち上げたいという気概がある皆様、異端者を歓迎します。

## 連絡先（ネットワーク機関）

一般社団法人 鶴岡サイエンスパーク  
E-mail : [info@tsuruoka-sp.jp](mailto:info@tsuruoka-sp.jp)  
HP : <https://tsuruoka-sp.jp/>



## 長岡バイオコミュニティ

# 地域資源を活かした循環型社会の実現と 新たなバイオエコノミーの創出

長岡のコメや未利用バイオ資源のバリューチェーンの構築による循環型社会を実現するとともに、既存のバイオ産業とものづくり産業の融合や企業誘致による新たなバイオエコノミーの創出を図ります。



## 活動方針

- ・資源循環のための地域内未利用資源の活用をめざす。
- ・産学金官による「長岡バイオエコノミーコンソーシアム」（会長：長岡市長）をプラットフォームとして、長岡バイオコミュニティの実現に向けた新しいプロジェクトを生み出す。

## 特徴・強み

### ■産学金官で盛んな資源循環の技術開発・事業化

長岡市は以前から産学金官の連携が強く、実証の場として市の施設などが活用されてきました。全国の自治体では最大規模の処理能力をもつ生ごみバイオガス発電センターを有するなど、資源循環に向けた取組は市民にも浸透しています。長岡技術科学大学では、木質バイオマス完全分解に向けた糸状菌研究など、多くの資源循環に向けた研究開発を行い、これらのリソースを最大限生かした共創プロジェクトを推進しています。



木質バイオマスを完全分解可能な  
糸状菌 *Trichoderma reesei*

### ■盛んな一次・二次産業と経済波及が期待できる産業構造

891km<sup>2</sup>という東京23区の約1.4倍の大地が育む水と豊かな自然を有しており、コメの作付面積は全国2位、日本酒蔵元数16は全国2位、米菓生産量は全国2位であり、一次産業やそれらを活用した製造業が盛んです。また高度な要素技術の「ものづくりのまち」として発展し、人口20～30万人の38自治体の中で、製造品出荷額6,571億円（2022年）は日本海側でトップとなっています。



蔵元数16は全国2位の日本酒

### ■高等教育機関の立地と産学金官の連携

産学金官が密接に連携するエコシステム（産業育成）が長岡市の特徴です。社会課題の解決や産業振興、まちづくり、人材育成など多様な分野で都市の発展につなげています。“学”においては、国連アカデミック・インパクト SDG9ハブ大学に世界で唯一任命されている長岡技術科学大学、技術者等の専門人材を育成する長岡高専をはじめ、日本で唯一のデザイン専門の長岡造形大学、経営の長岡大学、保健・医療・福祉の長岡崇徳大学の4大学1高専が立地しています。

## 体制

■ネットワーク機関：長岡バイオエコノミーコンソーシアム（会長：長岡市長、産業創生アドバイザー：ちとせグループ・藤田朋宏 Founder&CEO、研究アドバイザー：産業技術総合研究所生命工学領域・田村具博領域長）

■研究開発機関：長岡技術科学大学、長岡工業高等専門学校、産業技術総合研究所等

■企業等：市内外の企業、金融機関、各種団体等

■自治体・産業支援機関：長岡市、長岡商工会議所、長岡産業活性化協会 NAZE 等

〔産業活性化の長岡版エコシステム〕



長岡バイオエコノミーコンソーシアム

# 主な参画機関・活動

## ■循環型社会実現に向けた取組



**生ごみバイオガス発電センター**

分別収集した生ごみを微生物の働きで発酵し、発生したバイオガスを発電に利用しています。1日65トンの生ごみを処理することができ、全国の自治体では最大規模の生ごみバイオガス発電センターです。国内だけでなく海外からも注目されている環境にやさしい再生可能エネルギーの拠点施設です。



**お米循環の高付加価値化**

岩塚製菓(株)で廃棄されていた未利用資源である高濃度洗米水を回収し、長岡技術科学大学の発酵技術や(株)ホーネンアグリ(株)の堆肥製造技術を活用して有機肥料へ転換し、水稲栽培に活用する資源循環の取組を行っています。

## ■ネットワーキング活動



**産学金官の連携を創出する  
Matching HUB Nagaoka**

企業や大学が技術シーズを紹介し、産学金官の連携を創出する展示会で、100を超える市内外の企業・大学・団体が出展。新技術や新製品、新事業につなげようと、情報交換や商談が活発に行われています。

## ■インキュベーション活動

### ブリッジ・イノベーション・ラボラトリ



**地域の経済の活性化/地域社会課題の解決**

### 生物資源循環ブリッジ・イノベーション・ラボラトリ

長岡市、産業技術総合研究所、長岡技術科学大学共同で「有機廃棄物を含む生物資源の資源循環」をテーマとした研究開発、および長岡市とその周辺地域の食品・バイオ関連等の企業支援を行っています。拠点のミライエ長岡には、企業等の入居施設も有しています。

### 【ネットワーク機関からのメッセージ】

長岡市は東京から新幹線で1本約1時間30分という好アクセスにあり、四季あふれる街です。都市政策の柱は産業振興であり、バイオエコノミーはその重要な一つと位置付けています。産学金官が密接に連携している長岡のエコシステム(産業育成)で、企業や研究機関の取組を全力で支援します。長岡を新産業のフィールドに活用しませんか。

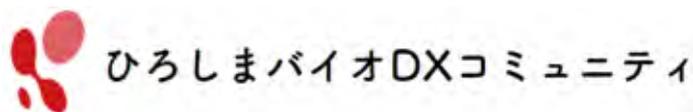
## 連絡先 (ネットワーク機関)

長岡バイオエコノミーコンソーシアム  
 (事務局：長岡市役所商工部産業イノベーション課)  
 E-mail : sangyou-seisaku@city.nagaoka.lg.jp  
 HP : <https://nagaoka-biocommunity.jp/>  
 Facebook : <https://www.facebook.com/biocommunity.nagaoka/>



## ひろしまバイオ DX コミュニティ

# バイオ DX を柱にした地域 バイオコミュニティを形成



広島地域をゲノムビジネスの拠点とするため、ゲノム解析・編集の研究シーズの蓄積をベースに関連技術の社会実装を進め、ゲノム関連企業・スタートアップの誘致と関連産業を新たに創出するとともに、ゲノム関連技術の社会的受容を進展させることを通じて、バイオ DX を柱にした地域バイオコミュニティを形成し、バイオ市場の活性化を図ります。

## 活動方針

以下3点を目指して、活動を進めています。

- ・ 広島の強みであるゲノム関連技術を利用して地域・グローバルの社会課題を解決し、SDGs にも貢献
- ・ 研究開発と事業の両面から戦略を策定し、高付加価値製品を市場に浸透させる成功事例を構築
- ・ 成功事例で得られた利益や呼び込んだ新たな投資を次の成長領域に投入する仕組みを構築

## 特徴・強み

### 国際競争力を持つ「ゲノム編集」や「バイオ DX」技術

広島大学には、「ゲノム編集」、「バイオ DX」分野のトップランナーが集積し、生物の“プログラミング（ゲノム編集・合成）”と“デジタル化（遺伝情報の解読・解析）”により、生物のもつ機能を最大限に引き出し、食・健康・エネルギーの分野における、人類が直面する課題解決に挑むことを目指した産官学共創によるプロジェクトに取り組んでいます。



広島大学

### スタートアップ創出に向けた盛んな取り組み

広島県はスタートアップの支援推進のための拠点都市として政府から指定されています。また、10年間でユニコーン企業を広島から10社創出することを目標に掲げたユニコーン10プロジェクトなど、スタートアップ創出のための支援が充実しています。また、グローバル展開・スタートアップ支援・ELSI 対応のインキュベーション人材を集結させています。

### 豊富なネットワークや強固な産学官連携

広島バイオテクノロジー推進協議会等、関連企業との豊富なネットワークが存在しています。また、地元企業・スタートアップによるゲノム関連技術を活用した取組が徐々に浸透し、産学官共創拠点も活用しながら県外企業との連携も加速しています。

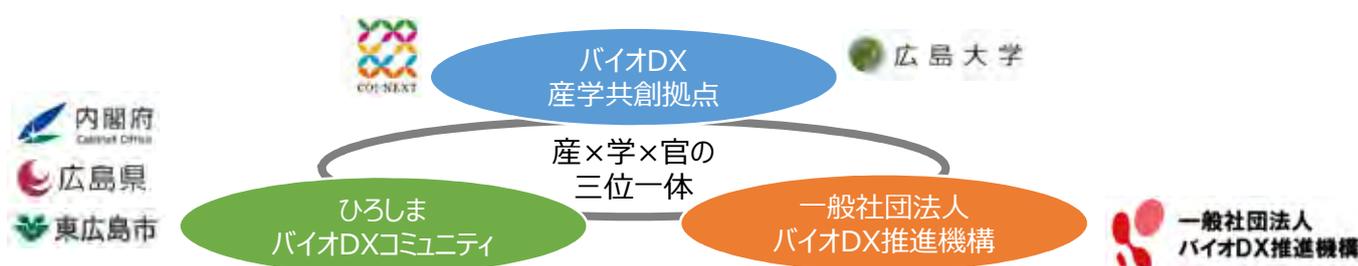
## 体制

■ **ネットワーク機関**：一般社団法人バイオ DX 推進機構

■ **研究開発機関**：広島大学、COI-NEXT「バイオ DX 産学共創コンソーシアム」等

■ **企業等**：プラチナバイオ、中国電力エネルギー総合研究所、阪急阪神不動産、電通、朝日新聞社、朝日放送テレビ、中国放送、中国新聞社、広島バイオテクノロジー推進協議会、ひろしま好きじゃけんコンソーシアム等

■ **自治体・インキュベーション機関**：広島県、東広島市等



## ■ 「ゲノム編集」「バイオ DX」分野の取り組み

最先端のNGS機器、国産ゲノム編集技術などを活用でき、ゲノム編集作物の生物多様性への影響に配慮した育種・商用化施設を提供します。



### アレルギー低減卵の開発

鶏卵の主要なアレルギーであるオボムコイドの遺伝子を広島大学が独自開発したゲノム編集技術を用いて鶏でノックアウトし、アレルギー低減卵の開発に成功しています。



### プラチナバイオ (株)

広島大学で開発されたゲノム編集ツール Platinum TALEN を核として設立された広島大学発スタートアップ企業。主力技術である FirmCut Platinum TALEN は、精密で効率的なゲノム編集を可能にしています。



### 広島大学ゲノム編集イノベーションセンター

シェアラボ・コワーキングスペースを整備し、ゲノム編集を活用する企業を支援しています。



### 県立総合技術研究所農業技術センター

農業分野での展開を目指し、ゲノム編集設備を整備して企業支援を推進しています。

## ■ スタートアップ支援



### 東広島市の課題

汚泥再生処理センターの電気使用料の削減

### プラチナバイオ(株)の解決策

季節変動する搬入物と微生物群の関係性をメタゲノム解析で可視化し、施設稼働効率化

### チャレンジの場「ひろしまサンドボックス」(広島県主催)

全国から企業や人材が集まり、課題解決に取り組む「ひろしまサンドボックス」では、県内市町とスタートアップ企業をマッチングする取組を実施しています。各市町が有する地域課題や住民向けサービス、行政事務に関する課題の解決に向けて、革新的なアイデアや技術を持ったスタートアップ企業と協業したい市町が参加しており、例えば東広島市の課題に取り組むプラチナバイオ(株)の例があります。

U10 HIROSHIMA UNICORN 10

STARTUP ACCELERATION

急成長を志す挑戦者をサポート

経験豊富な専門家とスタートアップ・ユニコーン企業との協力をサポート

### ユニコーン10プロジェクト (広島県)

10年間でユニコーン企業を広島から10社創出することを目標に掲げたプロジェクト。パートナー探しの支援や実証フィールドの確保、資金獲得、広島への企業移転等の様々な支援メニューを用意しています。

### 【ネットワーク機関からのメッセージ】

私たちは、「バイオ DX」と「ゲノム編集」のプラットフォーム技術を駆使して、広島から世界最先端のバイオエコノミー社会を実現します。私たちと一緒に、人類が直面する社会課題の解決にチャレンジしましょう！

## 連絡先 (ネットワーク機関)

一般社団法人バイオ DX 推進機構

E-mail : info@biodx.org

HP : <https://www.biodx.org/>



## 福岡バイオコミュニティ

# 世界の健康の未来を創る、 バイオビジネスを福岡・久留米から

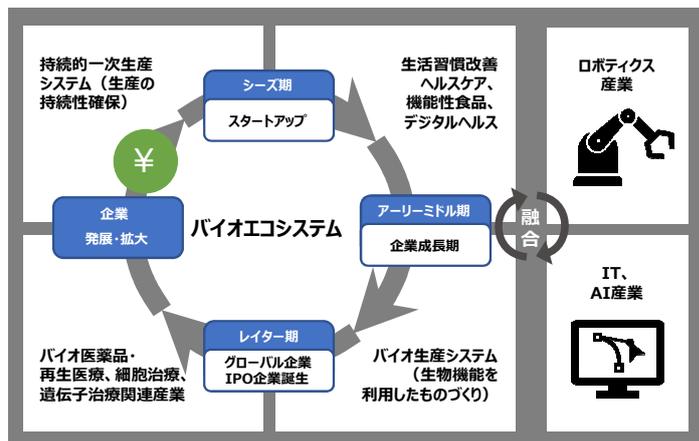
久留米市を中心としたバイオ産業拠点化に取り組む中で、創薬・医療、食品分野の強みを生かし、社会的課題の解決に資する技術を早期に実用化するエコシステムを構築します。



福岡バイオ  
コミュニティ  
FUKUOKA  
BIOCOMMUNITY

## 活動方針

これまでの取組みにより、バイオ関連企業等の集積や特色あるリーディングカンパニーの創出、独創的な機能性表示食品の開発など一定の成果が得られています。今後は、これらの成果を活かしながら多様なプレイヤーを呼び込み、ヒト・モノ・カネの好循環が可能なバイオエコシステムを構築することで、九州各県や国内外のバイオ拠点と有機的に連携する、国内有数のバイオコミュニティ形成を目指します。



福岡バイオコミュニティのビジョン

## 特徴・強み

### ■ 充実したネットワーク

産・学・官・金の800を超える企業・団体が構成されるネットワークを有し、バイオシーズの事業化や企業成長を支援する体制が整っています。また、提携する大学や研究機関の施設を安価に利用できます。

### ■ 魅力的なインフラ

バイオベンチャー育成のためのインキュベーション施設や、最先端機器を備えたオープンラボを利用できます。

### ■ 研究開発に恵まれた環境

シーズ段階から製品化までの段階別の研究開発費助成や、研究開発を技術支援するプラットフォーム事業を展開しています。

### ■ 多様なビジネス支援

創業から事業化までバイオベンチャーの成長に応じて、きめ細かい支援を行う専門アドバイザーを活用できます。その他、事業化を促進するアクセラレーションプログラムや国内外の大規模展示会への出展支援、技術セミナーなど幅広い分野で、多くのサポートが充実しています。



推進会議フォーラム



久留米大学  
疾患モデル研究センター



福岡県  
生物食品研究所



(株)久留米リサーチ・パーク

## 体制

■ **ネットワーク機関**：福岡バイオコミュニティ推進会議（事務局：株式会社 久留米リサーチ・パーク）

■ **研究開発機関**：九州大学、久留米大学、福岡大学、産業医科大学、福岡県生物食品研究所等

■ **企業等**：企業、ベンチャー、農事組合法人、病院、銀行、投資ファンド等

■ **自治体・インキュベーション機関**：福岡県、久留米市、九州経済産業局等

# 主な参画機関・活動

## 魅力的なインフラを整備

福岡バイオコミュニティの一角を担う久留米リサーチ・パークは、バイオ系の研究開発に対応できる3つのインキュベーション施設と高額な実験機器や分析機器を時間単価で利用できるオープン・ラボを整備しています。



**福岡バイオ  
イノベーションセンター**  
延床面積1,758㎡、12室



**福岡バイオ  
ファクトリー**  
延床面積2,219㎡、15室



**福岡バイオ  
インキュベーションセンター**  
延床面積1,365㎡、17室



**オープンラボ**  
質量分析装置や自動分注装置等の高額な最新機材を約100種類完備

## 研究開発を支援

### 研究開発助成

シーズ段階から製品化まで、End to Endの支援を実施しています。(助成額：50万円～1000万円程度)。



### 研究開発プラットフォーム

革新的な素材、生産技術・能力の強化につながる技術開発の基盤となる体制を構築するために、3つのプラットフォーム事業を展開しています。



#### オーファンドラッグ開発

久留米大学の協力のもと希少疾病用医薬品の開発に必要な疾患情報やアドバイスを提供



#### ゲノム編集産業化

ベンチャー企業や地域の中小企業がゲノム編集を活用できる環境の提供と技術支援



#### 機能性表示食品開発

機能性表示食品の届出の事前相談から目利き調査、届出書の事前チェックまで支援

#### 【ネットワーク機関からのメッセージ】

福岡バイオコミュニティには、バイオ関連企業が初期投資を抑えつつ、イノベーションを促進できる理想的な環境が整っています。研究開発や事業成長を支援するための各種助成制度も充実しており、コミュニティ全体が一丸となってサポートします。

#### 連絡先（ネットワーク機関）

福岡バイオコミュニティ推進会議

E-mail : [fbv@kurume-rp.co.jp](mailto:fbv@kurume-rp.co.jp)

HP : <https://www.fbv.fukuoka.jp>



# ■ 沖縄バイオコミュニティ

## 世界に通用する グローバルコミュニティへ

沖縄バイオコミュニティ  
Okinawa BioCommunity

亜熱帯特有の生物資源や世界的に注目度の高い沖縄科学技術大学院大学の参画、アジアのハブとなりうる地理的優位性等を活かし、地域産業の活性化と世界に通用するグローバルコミュニティとなることを目指します。

## 活動方針

科学技術を活用し、産学官金の有機的連携による相乗効果の発揮により、新たな付加価値を創造するイノベーション型の経済成長への転換を図るため、イノベーションの創出と次世代を担う持続可能な産業の振興を目指します。

## 特徴・強み

### ■ 世界最高水準の研究機関 沖縄科学技術大学院大学（OIST）と OIST 発ベンチャー企業の集積

世界最高水準の学際的な大学院大学である沖縄科学技術大学院大学（OIST）を有し、生物資源を活用した多様な研究開発シーズを保有しています。これらの資源を活用した OIST 発のベンチャー企業も数多く誕生しています。

### ■ 亜熱帯特有の生物資源

国内唯一の亜熱帯海洋性気候である沖縄県は、他の都道府県とは異なる固有の自然環境を有し、世界自然遺産に登録される地域があるなど、世界有数の生物多様性が高い地域です。この豊かな生物多様性の中で、多種多様な生物資源が存在しており、これら資源の産業への応用が期待されています。

### ■ バイオ関連産業振興の基盤構築

インキュベーション施設の整備・運営や研究開発支援など基盤構築のための様々な取組の結果、県内のバイオ関連企業数は2012年度の32社から2023年度には106社と3倍以上に増加しています。

### ■ 沖縄に立地する地理的優位性

国内だけでなく、韓国、中国、東南アジアなど、4時間圏内に人口21億人を抱える巨大マーケットの中心に位置しており、ネットワークを整備して物流などの拠点を形成し、沖縄が日本とアジアをつなぐ架け橋になっています。



**EF Polymer** 作物残渣から生まれた超吸水性エコフレンドリー・ポリマー  
**バイオアルケミー** 昆虫と菌で生ゴミや下水汚泥を飼料にする次世代排水処理装置

OSIT 発ベンチャー



(沖縄県資料より)



沖縄の地理的優位性

## 体制

- ネットワーク機関：沖縄県・一般社団法人トロピカルテクノプラス
- 研究開発機関：沖縄科学技術大学院大学、琉球大学、名城大学、沖縄工業高等専門学校等
- 企業等：バイオ関連企業、沖縄県工業連合会、沖縄県健康産業協議会、沖縄振興開発金融公庫、銀行、投資ファンド、病院等
- 自治体・インキュベーション機関：沖縄県、沖縄総合事務局、沖縄 TLO、沖縄科学技術振興センター、イノベーションサポート沖縄等

# 主な参画機関・活動

## ■ ネットワーク構築・人材育成



### ネットワーキングによる連携

バイオ関連企業や大学、研究機関等のシーズ紹介の場を設け、産学官金のネットワークを構築することで、沖縄からイノベーション創出を行う環境を提供しています。



### 展示会等での情報発信

コミュニティ体となってシーズ等の情報発信を行い、活動の見える化・ブランド化に取り込むことで国内外から人材および投資を誘引することに取り組んでいます。



### 未来を担うバイオ人材の育成

子どもたちの科学に対する興味・探求心を育てるための体験型プログラムの実施をはじめ、バイオ関連産業において求められる人材の確保・育成に取り組んでいます。

## ■ OKINAWA バイオアドバイザーによる支援

効果的な公的支援の実施及び県内バイオ関連企業等の成長を促進することを目的としてバイオ分野における専門家をアドバイザーとして登録しています。沖縄バイオコミュニティの参画メンバーは、有益なアドバイスを受けることができます。



## ■ インキュベーション施設

バイオ関連分野の研究開発や事業化を支援する充実したインキュベート施設。



### 沖縄健康バイオテクノロジー 研究開発センター

健康・バイオ分野の研究開発から製品化までを支援するインキュベート施設。機能性と利便性を考慮した研究室や高度な分析装置を揃えており、食品加工用途の乾燥・粉砕・殺菌などの実証装置も完備。



### 沖縄バイオ産業振興センター

バイオ関連産業等の起業や研究開発の支援するポストインキュベーション施設。多様な広さの研究室があり、実用化・販路開拓支援や専門人材によるアドバイスも受けられる。



### 沖縄ライフサイエンス 研究センター

バイオ・ライフサイエンス分野の科学技術の振興と産業化を目的に、ベンチャーや研究機関等が連携、研究開発するため設置されたレンタルラボ施設。約40種類の共用機器が利用可能。

### 【ネットワーク機関からのメッセージ】

沖縄バイオコミュニティでは、沖縄特有の資源や立地を活用したバイオ関連企業・大学等の事業化や連携促進を目指し、産学官金支が連携した取組を行っております。当コミュニティにご興味をお持ちのバイオ関連企業や関係機関、または沖縄への進出をご検討されている皆様におかれましては、どうぞお気軽にお問い合わせください。

## 連絡先（ネットワーク機関）

沖縄バイオコミュニティ事務局  
(一般社団法人トロピカルテクノプラス)  
E-mail : okinawa-bc@ttc.co.jp  
HP : <https://okibic.jp/>





(P11~P12)



鶴岡バイオコミュニティ  
Tsuruoka Science Park  
(p.13~p.14)



みんなで創るみんなの長岡  
バイオコミュニティ  
未来創造都市ながおか  
The Bio Community Future-Creating City Nagaoka  
(p.15~p.16)

東海バイオコミュニティ  
(育成)

群馬グリーン産業  
創出プラットフォーム  
(育成)

Greater  
Tokyo  
Biocommunity  
(p.3~p.6)



福岡バイオ  
コミュニティ  
FUKUOKA  
BIOCOMMUNITY  
(p.19~p.20)

BiocK  
バイオコミュニティ関西  
(p.7~p.10)



沖縄バイオコミュニティ  
Okinawa BioCommunity  
(p.21~p.22)



ひろしまバイオDXコミュニティ  
(p.17~p.18)

### 各バイオコミュニティのホームページ

- ・ Greater Tokyo Biocommunity (GTB) <https://gtb.jba.or.jp/>
- ・ バイオコミュニティ関西 (BiocK) <https://biocK.jp/>
- ・ 北海道プライムバイオコミュニティ <https://www.hbiocom.jp/>
- ・ 鶴岡バイオコミュニティ <https://tsuruoka-sp.jp/>
- ・ 長岡バイオコミュニティ <https://nagaoka-biocommunity.jp/>
- ・ ひろしまバイオ DX コミュニティ <https://www.biodx.org/>
- ・ 福岡バイオコミュニティ <https://www.fbv.fukuoka.jp/>
- ・ 沖縄バイオコミュニティ <https://okibic.jp/>



内閣府  
Cabinet Office

発行：内閣府科学技術・イノベーション推進事務局  
発行日：2024.10.08  
Copyright©2024 Cabinet Office, Government of Japan.  
All Rights Reserved.



本パンフレットは上記 QR コードより  
ダウンロードできます。